

SDS 番号: SDSFG0002
発行日: 2008 年 11 月 4 日
改定日: 2017 年 5 月 22 日 (Rev.2)

1. 製品及び会社情報	
製品名	ミドリグリーンダイレクト (Midori Green Direct)
カタログ番号	NE-MG05 NE-MG06
製品の推奨用途と使用上の制限	専門ユーザー向け核酸染色用研究試薬
供給元	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号 後楽森ビル 18 階 電話番号: 03-3813-0961 ファックス番号: 03-3813-0962
緊急時連絡先	電話番号: 03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時 30 分) E メール: info@genetics-n.co.jp

2. 組成及び成分情報		
化学名又は一般名	CAS 番号	濃度又は濃度範囲
再蒸留水	7732-18-5	99%
C ₂₁ H ₂₈ N ₄	データなし	1%

3. 危険有害性の要約	
危険有害性情報	所定濃度において健康に有害な物質を含んでいない。 欧州指令 67/548/EEC に準じ非有害性。
人体と環境に対する特定危険有害情報	本製品は、「EU の調剤品に関する一般分類ガイドライン」最新版の算出方法に基づきラベリングされる必要はない。 取引関係者/技術専門家専用。
分類法	EU 最新リストに基づき分類され、その結果は企業および文献データにより広められた。
GHS ラベル要素	非該当

4. 応急措置	
吸引した場合	新鮮な空気のある場所に移動する。 呼吸が困難な場合、医師の手当てを受ける。
飲みこんだ場合	被災者の意識がある場合、水で口をゆすぐ。 医師の指導を得ること。
皮膚に付着した場合	直ちに大量の石鹼と水で洗浄する。 刺激性が強くなる場合は、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	多量の水で 15 分以上洗浄する。 かならず指で眼を開き適切な量で洗い流す。 医師の指導を得ること。
医師への注意事項	症状に応じ治療を行うこと。

5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、水スプレー、耐アルコール性泡沫
保護具	必要に応じ自給式呼吸器及び保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	皮膚および眼への直接接触を最小限にすること。
環境に対する注意事項	大量の水で薄める。 下水/地上水又は地下水に入れないこと。
清浄化/回収の方法	回収して廃棄の手配をすること。 適切な廃棄用密閉容器に保存すること。 漏出後換気すること。
その他の情報	危険有害な物質は放出しない。

7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	皮膚および眼に触れさせないこと。 吸入しないこと。 長期あるいは反復暴露しないこと。
保管	乾燥した換気の良い場所で容器を密封して保存すること。 感光性あり。 吸湿性あり。

8. 暴露防止及び保護措置	
暴露限度	本製品は、作業場で監視必要な臨界値を有する材料のいかなる相当量も含んでいない。
個人用保護具	
呼吸用保護具	不要
手の保護具	保護手袋。 適切な手袋の選択は材質だけでなく他の品質特徴によるため、さまざまなメーカーのものが選ばれる。 本製品は数物質の調剤であるため、手袋の材質の耐性を前もって予測できず使用前に検査しなければならない。
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護	適切な保護衣
衛生対策	製品の取扱い中は飲食、喫煙しないこと。 取扱い後は手をよく洗う。

9. 物理的及び化学的性質	
外観(物理的状态)	液体
色	茶色
臭い	無臭
pH	データなし
沸点	データなし
融点/凝固点	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし

爆発危険性	データなし
蒸気圧	データなし
密度	データなし
水への溶解度	易溶性

10. 安定性及び反応性

熱分解	仕様に基づいて使用すれば無い。
危険有害反応	強酸化剤との混触を避けること。
危険有害な分解生成物	燃焼から発生する有害分解生成物は、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、ヨウ化水素である。

11. 有害性情報

暴露形態:	
吸引した場合	上気道及び粘膜に刺激のおそれあり。 吸入した場合、有害性のおそれがある。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激を起こすことがある。 皮膚吸収：皮膚から吸収すると有害性のおそれがある。
眼に入った場合	眼の刺激を起こすことがある。
飲みこんだ場合	飲みこんだ場合有害性のおそれがある。
感作性	感作性は知られていない。
有害性追加情報	<p>急性毒性 LD50 皮下 マウス 250 mg/kg</p> <p>標的臓器情報 - 血液</p> <p>慢性暴露 - 発がん性物質</p> <p>結果：本薬剤(混合物、暴露環境)は人体に対し発がん性はないと判断される。本薬剤のマウス骨髄細胞赤血球小核試験結果は陰性である。本薬剤のマウス精巣精母細胞染色体異常試験結果は陰性である。</p> <p>IARC 発がん性物質リスト</p> <p>分類：グループ 4</p> <p>慢性暴露 - 変異原性</p> <p>結果：実験室での実験及びエイムズ試験では、変異原性作用は殆ど認められなかった。</p>

12. 環境影響情報

水質有害性 クラス 1(ドイツ法規制)(自己評価)：軽微な水への有害性あり。
希釈していない製品又は大量の製品を地下水、水路及び下水道に流出させないこと。

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理専門業者に問い合わせ本製品を廃棄すること。
本製品を可燃性溶媒で溶解・混合し、再燃焼装置及び気体洗浄装置のついた化学物質焼却炉で燃やす。
化学物質の残渣は、地域別規制の適用を受け、一般的に特別廃棄物に分類される。
地域の廃棄物処理当局の指導を受けるか、化学物質廃棄物処理会社に託す。

14. 輸送上の注意

陸上輸送 ADR/RID (国境越え)
ADR/RID クラス：陸上貨物として有害性なし。

海上輸送 IMDG: IMDG クラス: 海上貨物として有害性なし。 海洋汚染物: なし
航空輸送 ICAO-TI 及び IATA-DGR: ICAO/IATA クラス: 航空貨物として有害性なし。
国連勧告: - 輸送/その他の情報: 上記仕様に従えば危険ではない。

15. 適用法令	
化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
PRTR法(化学物質排出把握管理促進法)	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物

16. その他情報
安全データシート作成日: 2008年11月4日 本 SDS 記載の情報は正確であるとされるが、これらデータを必要な安全予防措置を実施するかどうか決定するのは使用者または供給者の責任である。日本ジェネティクス株式会社は上記製品の取扱いあるいはその接触の結果起こる損害についていかなる責任を負うものではない。 略称および頭字語: ADR: 欧州危険物国際道路輸送協定 RID: 欧州危険物国際鉄道輸送規則 IMDG: 国際海上危険物規定 IATA: 国際航空運送協会 IATA-DGR: 国際航空運送協会危険物規則書 ICAO: 国際民間航空機関 ICAO-TI: 国際民間航空機関技術指針 GHS: 化学品の分類および表示に関する世界調和システム